

出来形管理基準及び規格値 第9編 ダム 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1	4			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	●△±20
						天 端 幅	●△±20
						ジョイント間隔	●△±30
						リ フ ト 高	●△±50
						堤 幅	●△ -30~+50
						堤 長	●△-100
9 ダム 編	1	4			コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	●△±20
						ジョイント間隔	●△±30
						幅	●△±40
						長 さ	●△ -100~+60

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。</p> <p>②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)</p> <p>③ジョイント間隔（横継目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。</p> <p>④堤長は、天端中心線延長を測定。</p> <p>3.</p> <p>①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。</p> <p>②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。</p>	<p>J：ジョイント</p>	9-1-4
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高（敷高）、ジョイント間は各ジョイント、各測定の交点部を測定。</p> <p>②長さ、各ジョイントごとに測定。</p> <p>③幅は、各測点ごとに測定。</p> <p>3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。</p>		9-1-4

出来形管理基準及び規格値 第9編 ダム 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	●△±20
						ジョイント間隔	●△±30
						リ フ ト 高	●△±50
						堤 幅	●△ -30~+50
						堤 長	●△±40

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高は、各ジョイントごとに測定。</p> <p>②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)</p> <p>③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。</p> <p>④堤長は、各測点ごとに測定。</p>	<p>J：ジョイント</p>	9-1-4

出来形管理基準及び規格値 第9編 ダム 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	●△±30
						ジョイント間隔	●△±20
						リ フ ト 高	●△±50
						長 さ	●△±100
						厚 さ	●△±20

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>①天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。</p> <p>②リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。</p> <p>(注) リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。</p> <p>③長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。</p>	<p>The diagrams illustrate measurement locations on a dam cross-section. The top diagram shows '天端幅' (top width) and '厚さ' (thickness) measurements at the top and at a 'リフト' (lift) section. The bottom diagram shows '測点' (measurement points) along the dam body, including the '副ダム部' (auxiliary dam part), '水叩部' (water striking part), and '本体部' (main body part), with 'J' indicating joint locations.</p>	9-1-4

J：ジョイント

出来形管理基準及び規格値 第9編 ダム 編

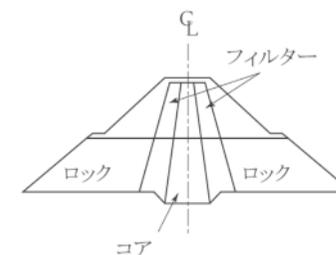
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	5		コアの盛立	基準高 ▽	●△ 設計値以上
						外側境界線	●△ -0~+500
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	6		フィルター の盛立	基準高 ▽	●△-0
						外側境界線	●△ -0~+1000
						盛立幅	●△ -0~+1000
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	7		ロック の盛立	基準高 ▽	●△-100
						外側境界線	●△ -0~+2000

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピング ローラ）の場合		9-2-4-5
各測点について5層毎に測定。		9-2-4-6
各測点について盛立5m毎に測定。		9-2-4-7



出来形管理基準及び規格値 第9編 ダム 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ∇	● Δ ±20
						ジョイント間隔	● Δ ±30
						厚 さ t	● Δ ±20
						幅 w	● Δ ±40
						リフト高さ	● Δ ±20
						長 さ L	● Δ ±100
9 ダム 編	3 基礎 グラウ チング	3 ボー リング 工			ボーリング工	深 度 L	● Δ 設計値以上
						配 置 誤 差	100

●：出来形管理図表を作成する。

Δ ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 1回/1 施工箇所		9-2
ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。		9-3-3